



今や正月の風物詩となり、多くの人に深い感動を与える箱根駅伝。開催の陰に、日本のマラソンを強くしたいと願う一人のマラソンランナーがいました。

かなくり しぞう  
金栗 四三

1891年、和木町(旧三加和町)に生まれる。マラソン選手として3度の世界記録を樹立。オリンピックにも3回出場。

昭和30年紫綬褒章受章(64歳)  
(玉名市立歴史博物館こころピア所蔵)



Kanakuri Shizo was the first marathon runner in Japan. In 1912 Japan joined the Olympics for the first time. Shizo was one of the members of the Japanese Olympic team that went to Stockholm. His race was on a really hot day, and he was not in good condition because of the long trip from Japan to Stockholm and the differences of food and life-style. He lost consciousness and didn't finish the race. When he returned to Japan, he made shoes called *Kanakuri-tabi*. They became popular among runners in Japan.

During his life, he did many other important things. For example, he started the first Hakone *Ekiden*. The word *ekiden* was his idea. Now *ekiden* are popular around the



- ・marathon マラソン
- ・Olympics オリンピック
- ・Stockholm ストックホルム
- ・condition 体調, 調子
- ・life-style 生活様式
- ・consciousness 意識
- ・race 競争

world. He loved running and hoped many people would try *ekiden*.

There are three famous words that he often used for himself: strength, spirit and effort. They are based on his life experience.



金栗氏が改良を重ね作り上げた「金栗足袋」

(玉名市立歴史博物館こころピア所蔵)

- ・strength 体力
- ・spirit 気力
- ・effort 努力
- ・be based on ~ ~に基づいている
- ・life experience 人生経験



▲ゴールの瞬間  
(玉名市立歴史博物館こころピア所蔵)

四三の心残りはオリンピック、ストックホルム大会で途中棄権したことでした。昭和42年、四三が75歳のときに、スウェーデンオリンピック委員会から第5回ストックホルムオリンピック大会記念行事への招待状を受け取ります。四三は、そこでついにゴールを果たします。そのとき「日本の金栗、ただ今ゴールイン。タイム、54年と8か月6日5時間32分20秒3。これをもって第5回ストックホルムオリンピック大会の全日程を終了する。」というアナウンスが場内を流れました。

昭和58年、11月13日、92歳で永眠。

### After Reading

●本文を読んで、金栗四三さんについて、初めて知ったことや感想などを英語で発表しましょう。

- (例) ・I think (that) ~. .... 私は~と思う。  
 ・I thought (that) ~. .... 私は~と思った。  
 ・I didn't know (that) ~. .... 私は~ということを知らなかった。  
 ・I was surprised (that) ~. .... 私は~ということに驚いた。  
 ・I was impressed by (with) ~. .... 私は~に感心(感動)した。